

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 1	身近な交通ネットワークや広域交通ネットワークを充実する	
重点施策ID	重点施策名	
3 - 1 - 1 - 2	生活道路の整備	

2. 事業名等			
事業名	生活道路整備（舗装補修）事業	事業区分	③ ①新規 ②継続 ③その他（終了）
細事業名	神松線舗装補修事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他（ ）
事業主体	市		① ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他（ ）
実施期間	平成 20 年度 ～ 平成 20 年度	根拠法規	地域再生法
各種の計画への反映（＝根拠計画）			市道整備計画
			事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 本路線は、国道57号と県道緒方大野線を結ぶ市道であり、地域の生活道路として重要である。また、国道側には豊後大野市消防西分署があり、市内医療機関への救急搬送時には本路線が主となる。	補助事業	名称	道整備交付金事業
		補助率	国 5.0/10 県 1/ 1/ その他 1/
	起債の種類	① ② ③	

事業の目的及び対象	事業概要
【目的】 地域の拠点性を高め、居住地から各生活拠点や中心部へ快適で安全な移動や歩行ができるように整備する。	○神松線舗装補修事業（大野町大原） 延長 L=301.8m
【対象】 市民	前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容
	B 終了

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金				3,050			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				3,050			
	計				6,100			
決 算	国庫支出金				3,050			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				3,050			
	計				6,100			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】	【実績】	【実績】 舗装補修工事 L=301.8m	

達成目標と前年度までの進捗状況………事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	進捗率						
効率指標	-						
成果指標	居住地と全町の生活拠点を結ぶ所要時間（大野町大原地区から大野町中心部の間の所要時間）						
	単位 分						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別				所要時間			
目標値				6			
実績値				6			
達成率				100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	本路線は、舗装路面が傷んでおり通行に支障をきたしているため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	本路線は市道であるので、道路管理者である市が事業実施をしなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	事業実施については、市道整備計画を定め計画的、効率的に実施をしているため。また、工事についても、指名競争入札により発注を行っているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	平成20年度は舗装補修工事が進められ、通行の安全性が向上しているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	本事業は、平成20年度に終了。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	1	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	本事業は、平成20年度に終了。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	B	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	本事業は、平成20年度に終了。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	